

第8回水道スマートメーター協議会及び札幌市実証研究視察

日 時： 平成 29 年 6 月 29 日（木）13：00-17：00 及び 30 日（金）9：00-12：00
場 所： 札幌市内水道関連施設及びスマートメーター実証研究施設、札幌国際ビル会議室
主 催： 公益財団法人 水道技術研究センター
協 力： 札幌市水道局
参 加： 神奈川県企業庁企業局、川崎市上下水道局、京都市上下水道局、神戸市水道局
札幌市水道局、東京都水道局、名古屋市上下水道局、横浜市水道局、大阪市水道局
事務局： 安藤専務理事、石田調査事業部長、松永主任研究員、関根主任研究員

開催概要

今後の水道スマートメーターの導入を念頭に置き、その実用性、規格、標準仕様などに関して情報交換、意見交換又は必要に応じて提言を行うことを目的とし、第8回水道スマートメーター協議会を開催しました。

また、今回は札幌市水道局及び関係企業の協力を得て、札幌市内における水道関連施設及び水道スマートメーターの実証研究等の状況を視察しました。

スケジュール

日時		内容
29 日	13:00-15:30	大倉山（緊急遮断弁付配水池）の視察
		札幌市水道記念館の視察
	15:30-16:00	水道スマートメーター実証研究の事前説明
	16:00-17:00	水道スマートメーター実証研究の視察
30 日	09:00-12:00	スマートメーター協議会

札幌市における実証研究の概要

- 積雪による難検針の課題に対し、水道スマートメーターの実用性研究を目的とする。
- 端末設置や検針データの評価等をアズビル金門株式会社が実施する。
- 通信技術には京セラコミュニケーションシステム株式会社の SIGFOX を採用し、無線通信による自動検針を評価する。
- 研究状況は、本環境下の場合、GW（ゲートウェイ）が1km 以内であれば、メーターの地下設置及び鉄蓋に対しても通信は可能であったが、二重扉や地下機械室ではNG となることがある。これは、GW の増設等により改善できるものと考える。



鉄蓋、地下設置サイト



機械室設置サイト

協議会概要

第7回協議会までの成果として、「導入に向けたコスト削減には一定の仕様共通化が必要」との意見に至りました。第8回協議会では、仕様共通化の取り掛かりとして、参加事業者の方々に水道スマートメーターの要求要件について事前にアンケートを実施し、結果に対する認識の共有及び意見交換を行うことを目的としました。また、アンケート結果は、今後開催を予定しているA-Smartプロジェクトにおいて、民間企業との協議を経て、整理していくことを確認しました。

〈主な意見〉

1. 要求要件については、水道事業者の内部でも意見が異なることがあるため、最大公約となる可能性はあるものの、手引きの作成に当たっては統一化に拘らず柔軟に整理する必要がある。
2. 計量法に基づく水道メーターの検定有効期限は8年とされているが、他インフラの状況等も勘案し、スマートメーターとしての考え方は整理する必要がある。
3. 現時点で共通化すべき点、地域の実情を踏まえ、すべきではない点について考えていくことが必要である。



協議会の様子